

お困りごとをお寄せください!

ハッピー・ライフ・ネットワーク

「Happy Life Network」

幸福実現党で作っている、悩み解決ネットワークです。

ハッピー・ライフ・ネットワークは、幸福実現党が作っている悩み解決ネットワークです。全国の相談員が地域のお困りごとを伺い、政治的側面から解決を図るだけでなく、以下の団体と協力して解決に当たっています。どうぞ、皆さまのお困りごとをお寄せください。

お問い合わせ先 〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-8 6階 幸福実現党本部
電話03-6441-0754 FAX 03-6441-0764

協力団体



HP:hs-nevermind.org/



HP:you-are-angel.org/



HP:mamoro.org/



幸福実現党

入党希望メールアドレス
kofuku@hr-party.jp

公式ホームページ
hr-party.jp



発行所 幸福実現党本部 〒107-0052 東京都港区赤坂2-10-8 電話03-6441-0754 ©幸福実現党本部2018年

今春、全国の幸福の科学
支部・精舎・一部劇場にて
公開!

ドキュメンタリー映画「心に寄り添う。」

いじめ、不登校、自殺、そして障害をもつ人とその家族にとって、ほんとうの「救い」とは何か。信仰を持つ若者たちが挑む心のドキュメンタリー。

監督・宇井 孝司 松本 弘司 音楽・水澤 有一 撮影監修・田中 一成
整音・内田 誠 (Team U) 出演・希島 凜 (ARI Production) / 小林 裕美
藤本 明德 三浦 義晃 (HSU生) プロデューサー・橋詰 太奉 鈴木 愛
大川 愛理沙 製作・ARI Production



障害、いじめ、不登校などに苦しむ方へ

心に寄り添う 政治を



障害児支援団体「ユー・アー・エンゼル」を訪れた党首

一昨年、障害者支援施設での悲惨な事件もありましたが、まだまだ障害者差別はなくなっていない。障害者支援の法律や取り組みにおいて、「肉体が不自由であっても魂は健全」という宗教的視点を入れてはどうでしょうか。

いじめや不登校に悩む子ども・家庭も増えていますが、政治でできることはもっとあります。

幸福実現党は、「人の役に立ちたい」という思いを、少しでも形にできる社会を作ります。

党首 積量子

一人ひとりの心に寄り

私たちは、地域の皆さまからお悩みを相談頂いたり、問題解決のための政策を提言したりといった

添う政治を目指します。

活動を行うことによって、皆さまの幸福の実現に邁進しております。

障害者の自立を後押しします

日本全国でなんらかの障害がある人は約860万人と15人に1人の割合です。しかし、障害者への理解が進んでいないこともあり、比較的賃金の高い民間企業で働く障害者は約50万人(内閣府『平成29年版障害者白書』)と、就職は困難となっています。

障害者の月額賃金

知的障害者全体	約10万8千円
福祉施設などで働く障害者 (雇用契約を結ぶ)	約6万9千円
福祉施設などで働く障害者 (雇用契約を結ばない)	約1万4千円

※2013年度の賃金の平均値。厚生労働省資料を基に作成。

ハードソフト両面でバリアフリー化を推進します!

ほんとうの「心のバリアフリー」を実現

「人間はみな神仏の子」という霊的人生観に基づき、障害者に対する社会の理解促進や、差別の撤廃に取り組みます。



障害者の自立や社会参加を後押し

障害者雇用を行う企業に対する税制上の優遇措置などの拡充や、新産業創出などによる雇用創造により、障害者の自立を後押しします。

誰もが安心できる社会づくり

道路や公共交通機関等のバリアフリー化や、情報のバリアフリー化(※)を促進します。

(※)大規模災害など緊急時放送の字幕化及び手話通訳の挿入など

いじめ、不登校で悩む子供を守ります

不登校児童数は増加傾向で、2016年度は過去最高となる1.35%(※1)でした。また、いじめの認知件数は2016年度に約32万件(※2)と過去最多を記録し、前年度から見ても約10万件増となっています。

(※1) 小中学校の合計。文部科学省「平成28年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」について」による。

(※2) 全国の国公立小中高、特別支援学校が対象。文部科学省の発表による。

子供が安心できる教育環境を創ります

多様な学びを推進

一定の条件を満たしたフリースクールや塾を公的な学校とみなすなどし、不登校生を支援します。

いじめを根絶

宗教教育、偉人教育を充実させます。いじめの報告や対応を義務付けるとともに、放置・隠蔽するなどした教員や学校への罰則を設けます。



© Fast&Slow / PIXTA(ピクスタ)

地域に寄り添う 党公認議員・柴田きくえ北茨城市議の活動



柴田市議は昨年より、毎月1回、障害者の保護者とともに定例会を開催し、保護者の方の悩みの声を聞いたり、「空き民宿」を活用したグループホームを提案したりしています。また、不登校支援の相談会(右写真)も開催するなど、地域の方の悩み解決に力を注いでおります。

